

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representation of  
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

11000 U.S. Pro  
09/087327  
06/25/01

Applicant(s): KOSHINO, Masayuki

Application No.: Group:

Filed: June 25, 2001 Examiner:

For: METHOD OF AND SYSTEM FOR CONTENTS DISTRIBUTION

L E T T E R

Assistant Commissioner for Patents  
Box Patent Application  
Washington, D.C. 20231

June 25, 2001  
2611-0150P

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2000-361793	11/28/00

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By: 

JOHN CASTELLANO  
Reg. No. 35,094  
P. O. Box 747  
Falls Church, Virginia 22040-0747

Attachment  
(703) 205-8000  
/kw

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

KOSHINO, Masayuki  
June 25, 2001  
BSKB, LCP  
(703) 205-8000  
2611-0150P  
1 of 1

1000 U.S. PTO  
09/887327  
6/25/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

2000年11月28日

出願番号  
Application Number:

特願2000-361793

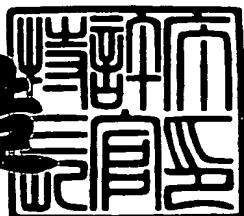
出願人  
Applicant(s):

三菱電機株式会社

2001年3月23日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3021798

【書類名】 特許願  
 【整理番号】 527046JP01  
 【提出日】 平成12年11月28日  
 【あて先】 特許庁長官殿  
 【国際特許分類】 G06F 13/00 354  
 G06F 15/177 674  
 H04L 12/18  
 H04L 12/58

## 【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社内

【氏名】 越野 真行

## 【特許出願人】

【識別番号】 000006013

【氏名又は名称】 三菱電機株式会社

## 【代理人】

【識別番号】 100089118

## 【弁理士】

【氏名又は名称】 酒井 宏明

## 【手数料の表示】

【予納台帳番号】 036711

【納付金額】 21,000円

## 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9803092

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンテンツ配信局からコンテンツ受信局に無線通信チャネルを用いてコンテンツを配信するコンテンツ配信システムにおいて、

前記コンテンツ配信局は、前記コンテンツ受信局からのコンテンツの配信要求に対し、当該コンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局への当該コンテンツの配信に用いるチャネルとして、すべてのコンテンツ受信局に同時配信するためのブロードキャストチャネルか、コンテンツ受信局ごとに個別に設定された占有チャネルかを割り当てる特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項2】 前記コンテンツ配信局は、同一のコンテンツの配信を受けているコンテンツ受信局の総数に応じて、当該コンテンツ受信局のそれぞれに対し、前記コンテンツの配信に用いるチャネルとして、すべてのコンテンツ受信局に同時配信するためのブロードキャストチャネルか、コンテンツ受信局ごとに個別に設定された占有チャネルかを割り当てる特徴とする請求項1に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項3】 前記コンテンツ配信局は、コンテンツの配信に用いるチャネルとして、当該コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の下限値以下である場合に、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局と前記他のコンテンツ受信局とのそれぞれに個別の占有チャネルを割り当てる特徴とする請求項2に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項4】 前記コンテンツ配信局は、コンテンツの配信に用いるチャネルとして、当該コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の上限値以上である場合に、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局と前記他のコンテンツ受信局とに同一のブロードキャストチャネルを割り当てる特徴とする請求項2または3に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項5】 前記コンテンツ配信局は、すべてのコンテンツ受信局に対してそれぞれ個別の無線通信チャネルをあらかじめ設定し、当該無線通信チャネルを用いて、コンテンツの配信を受けるコンテンツ受信局に対し、前記割り当てられたチャネル、コンテンツ配信開始時刻、配信対象となるコンテンツ番号等の配信に関する情報を通知することを特徴とする請求項1～4のいずれか一つに記載のコンテンツ配信システム。

【請求項6】 前記コンテンツ受信局は、前記配信に関する情報の通知を受けるとともに、前記コンテンツ番号に対応するコンテンツの配信を受けるチャネルとして、前記割り当てられたチャネルを設定し、前記コンテンツ配信開始時刻に達した際に、設定されたチャネルを用いて前記コンテンツを受信することを特徴とする請求項5に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項7】 コンテンツ配信局からコンテンツ受信局に無線通信チャネルを用いてコンテンツを配信するコンテンツ配信方法において、

前記コンテンツ配信局が、前記コンテンツ受信局からのコンテンツの配信要求を受ける配信要求受信ステップと、

前記コンテンツ配信局が、前記コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けて他のコンテンツ受信局の総数を取得するコンテンツ受信局数取得ステップと

前記コンテンツ配信局が、前記総数に応じて、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局への当該コンテンツの配信に用いるチャネルとして、すべてのコンテンツ受信局に同時配信するためのブロードキャストチャネルか、コンテンツ受信局ごとに個別に設定された占有チャネルかを割り当てる第1のチャネル割り当てステップと、

を含んだことを特徴とするコンテンツ配信方法。

【請求項8】 前記コンテンツ配信局が、前記総数に応じて、当該総数に含まれたコンテンツ受信局のそれぞれに対し、前記コンテンツの配信に用いるチャネルとして、すべてのコンテンツ受信局に同時配信するためのブロードキャストチャネルか、コンテンツ受信局ごとに固有に設定された占有チャネルかを割り当てる第2のチャネル割り当てステップを含んだことを特徴とする請求項7に記載

のコンテンツ配信方法。

【請求項9】 前記第1および第2のチャネル割り当てステップは、前記総数が所定の下限値以下である場合に、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局と当該コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局とのそれぞれに個別の占有チャネルを割り当てる特徴とする請求項8に記載のコンテンツ配信方法。

【請求項10】 前記第1および第2のチャネル割り当てステップは、前記総数が所定の上限値以上である場合に、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局と当該コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局とに同一のブロードキャストチャネルを割り当てる特徴とする請求項8または9に記載のコンテンツ配信方法。

【請求項11】 前記コンテンツ配信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、コンテンツの配信を受けるコンテンツ受信局に対し、前記割り当てられたチャネル、コンテンツ配信開始時刻、配信対象となるコンテンツ番号等の配信に関する情報を通知する配信情報通知ステップを含んだことを特徴とする請求項7～10のいずれか一つに記載のコンテンツ配信方法。

【請求項12】 前記コンテンツ受信局が、前記配信に関する情報の通知を受ける配信情報受信ステップと、

前記コンテンツ受信局が、前記コンテンツ番号に対応するコンテンツの配信を受けるチャネルとして、前記割り当てられたチャネルを設定するチャネル設定ステップと、

前記コンテンツ受信局が、前記コンテンツ配信開始時刻に達した際に、設定されたチャネルを用いて前記コンテンツを受信するコンテンツ受信ステップと、

を含んだことを特徴とする請求項11に記載のコンテンツ配信方法。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

##### 【発明の属する技術分野】

この発明は、コンテンツ配信に使う無線通信チャネルを効率的に割り当てるコ

ンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信方法に関し、詳細には、コンテンツ配信局からコンテンツ受信局にコンテンツ配信する際に、コンテンツ受信局の数に応じて配信チャネルを切り替えるコンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信方法に関するものである。

#### 【0002】

##### 【従来の技術】

従来では、音楽、映像、放送番組、交通情報、天気情報、株価情報その他のリアルタイムで変化するデータ等のコンテンツを無線で各ユーザの端末（受信局）に配信する方法として、共有チャネルを用いて不特定多数に一斉に配信する方式と、占有チャネルを用いて特定の受信局に対してのみ配信する方式とが用いられていた。

#### 【0003】

共有チャネルを用いて不特定多数に一斉に配信する方式では、コンテンツ配信局側で、コンテンツ毎にあらかじめ共有チャネルが決められており、受信局は、いくつかの既知の共有チャネルを選択することにより、所望のコンテンツを取得する。

#### 【0004】

一方、占有チャネルを用いて特定の受信局に対してのみ配信する方式では、コンテンツ配信局が、受信局からあるコンテンツに対する配信要求があった際に、その受信局に占有のチャネルを割り当てる。そして、受信局は、その割り当てられたチャネルを用いて所望のコンテンツを取得する。特に、この場合、一度割当てられたチャネルは、コンテンツ配信が完了するまで固定されていた。

#### 【0005】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記共有チャネルを用いたコンテンツ配信方式では、共有チャネルが少ない場合には一時にユーザが受信選択できるコンテンツの種類が少なくなるという問題があった。一方で、共有チャネル数を増やすと、ユーザに選択される機会の少ないコンテンツに割り当たられたチャネルが無駄に浪費されてしまうという問題が生じる。

## 【0006】

また、上記占有のチャネルを用いたコンテンツ配信方式では、異なるユーザ間で同じコンテンツを受信している場合であっても、その受信局数分のチャネルを必要とするため、結果的にチャネルを浪費していることになるという問題があった。

## 【0007】

ここで、共有チャネルと占有チャネルを混在で使用し、コンテンツ毎にあらかじめ共有チャネルと占有チャネルのどちらを使うかを決めておくという方法もあるが、あるコンテンツに対するユーザの配信要求の度合いは、その時その時の状況で大きく変動するため、実際のところ適切な配分で事前に決めるというのは困難である。

## 【0008】

この発明は上記問題点を解決するためになされたもので、コンテンツ配信に用いる無線通信チャネルを効率的に割り当てるコンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信方法を得ることを目的とする。

## 【0009】

## 【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決し、目的を達成するため、この発明にかかるコンテンツ配信システムにあっては、コンテンツ配信局からコンテンツ受信局に無線通信チャネルを用いてコンテンツを配信するコンテンツ配信システムにおいて、前記コンテンツ配信局は、前記コンテンツ受信局からのコンテンツの配信要求に対し、当該コンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局への当該コンテンツの配信に用いるチャネルとして、すべてのコンテンツ受信局に同時配信するためのブロードキャストチャネルか、コンテンツ受信局ごとに個別に設定された占有チャネルかを割り当てる特徴とする。

## 【0010】

この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、コンテンツの配信要求対象となるコン

コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、ブロードキャストチャネルか占有チャネルかに設定するので、コンテンツの利用状況に応じたチャネル変更を実現することができる。

#### 【0011】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信システムにあっては、上記発明において、前記コンテンツ配信局が、同一のコンテンツの配信を受けているコンテンツ受信局の総数に応じて、当該コンテンツ受信局のそれぞれに対し、前記コンテンツの配信に用いるチャネルとして、すべてのコンテンツ受信局に同時配信するためのブロードキャストチャネルか、コンテンツ受信局ごとに固有に設定された占有チャネルかを割り当てる特徴とする。

#### 【0012】

この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、ブロードキャストチャネルか占有チャネルかに設定するので、コンテンツの利用状況に応じたチャネル変更を実現することができる。

#### 【0013】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信システムにあっては、上記発明において、前記コンテンツ配信局が、コンテンツの配信に用いるチャネルとして、当該コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の下限値以下である場合に、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局と前記他のコンテンツ受信局とのそれぞれに個別の占有チャネルを割り当てる特徴とする。

#### 【0014】

この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の下限値以下である場合に、占有チャネルに設定するので、利用の少ないコンテンツに対して割り当てられているブロードキャストチャネルを開放することができる。

## 【0015】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信システムにあっては、上記発明において、前記コンテンツ配信局が、コンテンツの配信に用いるチャネルとして、当該コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の上限値以上である場合に、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局と前記他のコンテンツ受信局とに同一のブロードキャストチャネルを割り当てる特徴とする。

## 【0016】

この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の上限値以上である場合に、ブロードキャストチャネルに設定するので、利用の多いコンテンツに対してコンテンツ受信局毎に割り当てられている占有チャネルを開放することができる。

## 【0017】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信システムにあっては、上記発明において、前記コンテンツ配信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してそれぞれ個別の無線通信チャネルをあらかじめ設定し、当該無線通信チャネルを用いて、コンテンツの配信を受けるコンテンツ受信局に対し、前記割り当てられたチャネル、コンテンツ配信開始時刻、配信対象となるコンテンツ番号等の配信に関する情報を通知することを特徴とする。

## 【0018】

この発明によれば、コンテンツ配信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、配信に関する情報をコンテンツ受信局に送信するので、コンテンツ受信局に、チャネルの割り当て変更や受信タイミング等を通知することができる。

## 【0019】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信システムにあっては、上記発明において、前記コンテンツ受信局が、前記配信に関する情報の通知を受けるとともに、前記

コンテンツ番号に対応するコンテンツの配信を受けるチャネルとして、前記割り当てられたチャネルを設定し、前記コンテンツ配信開始時刻に達した際に、設定されたチャネルを用いて前記コンテンツを受信することを特徴とする。

#### 【0020】

この発明によれば、コンテンツ受信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、コンテンツ配信局から、配信に関する情報の通知を受けるので、チャネルの割り当て変更やチャネルの割り当て変更後の所定の受信タイミングでのコンテンツ受信を実行することができる。

#### 【0021】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信方法にあっては、コンテンツ配信局からコンテンツ受信局に無線通信チャネルを用いてコンテンツを配信するコンテンツ配信方法において、前記コンテンツ配信局が、前記コンテンツ受信局からのコンテンツの配信要求を受ける配信要求受信ステップと、前記コンテンツ配信局が、前記コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数を取得するコンテンツ受信局数取得ステップと、前記コンテンツ配信局が、前記総数に応じて、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局への当該コンテンツの配信に用いるチャネルとして、すべてのコンテンツ受信局に同時配信するためのブロードキャストチャネルか、コンテンツ受信局ごとに個別に設定された占有チャネルかを割り当てる第1のチャネル割り当てステップと、を含んだことを特徴とする。

#### 【0022】

この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、コンテンツの配信要求対象となるコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、ブロードキャストチャネルか占有チャネルかに設定するので、コンテンツの利用状況に応じたチャネル変更を実現することができる。

#### 【0023】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信方法にあっては、上記発明において、前記

コンテンツ配信局が、前記総数に応じて、当該総数に含まれたコンテンツ受信局のそれぞれに対し、前記コンテンツの配信に用いるチャネルとして、すべてのコンテンツ受信局に同時配信するためのブロードキャストチャネルか、コンテンツ受信局ごとに固有に設定された占有チャネルかを割り当てる第2のチャネル割り当てステップを含んだことを特徴とする。

## 【0024】

この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、ブロードキャストチャネルか占有チャネルかに設定するので、コンテンツの利用状況に応じたチャネル変更を実現することができる。

## 【0025】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信方法にあっては、上記発明において、前記第1および第2のチャネル割り当てステップが、前記総数が所定の下限値以下である場合に、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局と当該コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局とのそれぞれに個別の占有チャネルを割り当てるなどを特徴とする。

## 【0026】

この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の下限値以下である場合に、占有チャネルに設定するので、利用の少ないコンテンツに対して割り当てられているブロードキャストチャネルを開放することができる。

## 【0027】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信方法にあっては、上記発明において、前記第1および第2のチャネル割り当てステップが、前記総数が所定の上限値以上である場合に、前記コンテンツの配信要求を発したコンテンツ受信局と当該コンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局とに同一のブロードキャストチャネルを割り当てるなどを特徴とする。

## 【0028】

この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の上限値以上である場合に、ブロードキャストチャネルに設定するので、利用の多いコンテンツに対してコンテンツ受信局毎に割り当てられている占有チャネルを開放することができる。

## 【0029】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信方法にあっては、上記発明において、前記コンテンツ配信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、コンテンツの配信を受けるコンテンツ受信局に対し、前記割り当てられたチャネル、コンテンツ配信開始時刻、配信対象となるコンテンツ番号等の配信に関する情報を通知する配信情報通知ステップを含んだことを特徴とする。

## 【0030】

この発明によれば、コンテンツ配信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、配信に関する情報をコンテンツ受信局に送信するので、コンテンツ受信局に、チャネルの割り当て変更や受信タイミング等を通知することができる。

## 【0031】

つぎの発明にかかるコンテンツ配信方法にあっては、上記発明において、前記コンテンツ受信局が、前記配信に関する情報の通知を受ける配信情報受信ステップと、前記コンテンツ受信局が、前記コンテンツ番号に対応するコンテンツの配信を受けるチャネルとして、前記割り当てられたチャネルを設定するチャネル設定ステップと、前記コンテンツ受信局が、前記コンテンツ配信開始時刻に達した際に、設定されたチャネルを用いて前記コンテンツを受信するコンテンツ受信ステップと、を含んだことを特徴とする。

## 【0032】

この発明によれば、コンテンツ受信局が、すべてのコンテンツ受信局に対して

あらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、コンテンツ配信局から、配信に関する情報の通知を受けるので、チャネルの割り当て変更やチャネルの割り当て変更後の所定の受信タイミングでのコンテンツ受信を実行することができる。

## 【0033】

## 【発明の実施の形態】

以下に、この発明にかかるコンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信方法の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。なお、この実施の形態によりこの発明が限定されるものではない。

## 【0034】

図1は、実施の形態にかかるコンテンツ配信システムの概略構成を示すブロック図である。図1において、コンテンツ配信システムは、互いに無線回線を介して通信可能なコンテンツ受信局100とコンテンツ配信局200とを備えて構成される。なお、無線アクセスにおいて必要となる中継局等については、説明を簡単にするため、ここでは省略する。

## 【0035】

図1において、コンテンツ配信局200は、複数の情報テーブルが記憶されたメモリ部30と、無線受信データを処理する無線受信部11と、無線受信部11から受け取った受信データを処理する受信メッセージ処理部12と、受信メッセージ処理部12からの要求に応じてコンテンツ配信用の無線チャネルの割り当ておよび解放をおこなうチャネル割当部13と、無線送信データを送信する無線送信部18と、送信メッセージの生成と無線送信部18に対しての無線チャネル指示をおこなう送信メッセージ処理部15と、メモリ部30上に存在する情報テーブルへの書き込みおよび読み込みをおこなうテーブル処理部14と、コンテンツ配信を制御する配信コンテンツ処理部16と、配信コンテンツ処理部16により指示された時刻に達したか否かを監視して、達した際にその旨を通知する時刻管理部17と、配信コンテンツデータの格納したコンテンツデータベース20と、を備えて構成される。

## 【0036】

また、メモリ部30は、コンテンツ配信数管理テーブル31と、チャネル状態テーブル32と、閾値テーブル33と、コンテンツ受信局情報テーブル34と、シグナリングチャネル情報テーブル35と、を備えている。図2は、上記各テーブルの格納内容を示す図である。

#### 【0037】

コンテンツ配信数管理テーブル31は、現在各コンテンツを受信しているコンテンツ受信局の数を管理するテーブルであり、図2(a)に示すように、コンテンツ番号、配信先コンテンツ受信局数および使用チャネル種別により構成される。ここで、コンテンツ番号は、配信するコンテンツの識別番号を示し、配信先コンテンツ受信局数は、該当するコンテンツを現在配信している宛先となるコンテンツ受信局の数を示し、使用チャネル種別は、例えば、コンテンツ受信局が占有している無線チャネル(以下、占有チャネルと称する。)を「0」とし、コンテンツ受信局間で共有している無線チャネル(以下、ブロードキャストチャネルと称する。)を「1」として表されるものである。

#### 【0038】

また、チャネル状態テーブル32は、無線チャネル毎にその種別、使用有無および使用時に該当するコンテンツ番号を管理するテーブルであり、図2(b)に示すように、チャネル番号、チャネル種別、チャネル使用状態およびコンテンツ番号により構成される。ここで、チャネル番号は、無線チャネルの識別番号を示し、チャネル種別は、上記使用チャネル種別と同様に表され、チャネル使用状態は、例えば、チャネルの未使用状態を「0」とし、予約中状態を「1」とし、使用中状態を「2」として表され、またコンテンツ番号は、該当チャネルを使用して送信中のコンテンツの識別番号を示す。

#### 【0039】

また、閾値テーブル33は、チャネル割当の際に使う閾値の情報を格納するテーブルであり、図2(c)に示すように、一つのコンテンツに対して配信を受けているコンテンツ受信局の数の上限閾値と下限閾値とにより構成される。

#### 【0040】

また、コンテンツ受信局情報テーブル34は、コンテンツ配信を受けるコンテ

ンツ受信局の各種情報を管理するテーブルであり、図2 (d) に示すように、コンテンツ受信局番号、チャネル番号およびコンテンツ配信開始時刻により構成される。ここで、コンテンツ受信局番号は、コンテンツの配信を受けているコンテンツ受信局の識別番号を示し、チャネル番号は、該当するコンテンツ受信局に対してコンテンツ配信をおこなうのに使用されている無線チャネルの識別番号を示し、コンテンツ配信開始時刻は、該当するコンテンツ受信局にコンテンツの配信を開始する時刻を示す。

#### 【0041】

また、シグナリングチャネル情報テーブル35は、コンテンツ受信局との通信に使用する具体的な無線チャネルの情報を管理するテーブルであり、図2 (e) に示すように、コンテンツ受信局番号、上りチャネル情報（周波数、スロット番号）および下りチャネル番号（周波数、スロット番号）により構成される。ここで、コンテンツ受信局番号は、コンテンツ受信局の識別番号を示し、上りチャネル情報は、該当するコンテンツ受信局からコンテンツ配信局方向へのシグナリングチャネルの周波数とスロット番号を示し、下りチャネル情報は、コンテンツ配信局から該当するコンテンツ受信局方向へのシグナリングチャネルの周波数とスロット番号を示す。

#### 【0042】

以下に、実施の形態にかかるコンテンツ配信システムの動作について説明する。まず、コンテンツ配信局200が、コンテンツ受信局100から配信要求を受信した際の動作について説明する。図3は、コンテンツ配信システムの動作を示すフローチャートであり、特にコンテンツ配信局におけるチャネル切替・割当動作を示すものである。

#### 【0043】

まず、コンテンツ配信局200において、無線受信部11は、コンテンツ受信局100から無線受信データを受信すると、受信メッセージを取り出し、取り出した受信メッセージを受信メッセージ処理部12に送信する（ステップS101）。受信メッセージ処理部12では、その受信メッセージが配信要求メッセージであるならば、その受信メッセージから、配信要求されているコンテンツ番号を

抽出し、そのコンテンツ番号を設定したチャネル割当要求をチャネル割当部13に送信する（ステップS102）。

【0044】

チャネル割当部13では、テーブル処理部14に対し、抽出されたコンテンツ番号に関する情報と閾値情報の取得を指示する情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受け、メモリ部30上のコンテンツ配信数管理テーブル31から、指定されたコンテンツ番号に関する情報を読み出すとともに、閾値テーブル33から閾値情報を読み出し、それら読み出した情報を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

【0045】

チャネル割当部13は、このテーブルデータを受けると、指定したコンテンツ番号について、該当するコンテンツの配信先のコンテンツ受信局数と配信用の使用チャネル種別を取得するとともに（ステップS103）、上限閾値と下限閾値を取得する（ステップS104）。

【0046】

取得した配信先コンテンツ受信局数が0である場合には（ステップS105肯定）、配信用の使用チャネル種別を判断することなく、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100に対して、コンテンツ配信用としてそのコンテンツ受信局100の占有チャネルを割り当てるなどを決定する（ステップS111）。ここで、この決定を占有チャネル割当決定と称する。

【0047】

一方、取得した配信先コンテンツ受信局数が0でなく（ステップS105否定）、かつ配信用の使用チャネル種別がブロードキャストチャネルである場合には（ステップS106肯定）、上記ステップS103において取得した配信先コンテンツ受信局数に1を加えた数が、上記ステップS104において取得した下限閾値以下であるか否かを判定する（ステップS107）。

【0048】

ステップS107において配信先コンテンツ受信局数に1を加えた数が下限閾値より大きい場合には、すでにコンテンツが配信されているコンテンツ受信局が

使用している配信用のチャネル、すなわちブロードキャストチャネルを、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100に対しても割り当てるなどを決定する（ステップS108）。ここで、この決定をブロードキャスト割当決定と称する。

## 【0049】

ステップS107において配信先コンテンツ受信局数に1を加えた数が下限閾値以下である場合には、すでにコンテンツが配信されているコンテンツ受信局が使用している配信用のチャネル、すなわちブロードキャストチャネルをそのコンテンツ受信局の占有チャネルに切り替え、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100に対してもそのコンテンツ受信局100の占有チャネルを割り当てるなどを決定する（ステップS109）。ここで、この決定を占有チャネル切替・割当決定と称する。

## 【0050】

また、取得した配信先コンテンツ受信局数が0でなく（ステップS105否定）、かつ配信用の使用チャネル種別がブロードキャストチャネルでない場合、すなわちコンテンツ受信局の占有チャネルである場合には（ステップS106否定）、上記ステップS103において取得した配信先コンテンツ受信局数に1を加えた数が、上記ステップS104において取得した上限閾値以上であるか否かを判定する（ステップS110）。

## 【0051】

ステップS110において配信先コンテンツ受信局数に1を加えた数が上限閾値以上である場合には、すでにコンテンツが配信されているコンテンツ受信局が使用している配信用のチャネル、すなわちそのコンテンツ受信局の占有チャネルをブロードキャストチャネルに切り替え、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100に対してもそのブロードキャストチャネルを割り当てるなどを決定する（ステップS112）。ここで、この決定をブロードキャストチャネル切替・割当決定と称する。

## 【0052】

ステップS110において配信先コンテンツ受信局数に1を加えた数が上限閾

値より小さい場合には、上記した占有チャネル割当決定と同様に、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100に対して、コンテンツ配信用としてそのコンテンツ受信局100の占有チャネルを割り当てるなどを決定する（ステップS111）。

#### 【0053】

つぎに、上記した占有チャネル割当決定、ブロードキャスト割当決定、占有チャネル切替・割当決定およびブロードキャストチャネル切替・割当決定の各決定に基づいて、実際にチャネルの切り替えと割り当てをおこなう処理について説明する。

#### 【0054】

まず、占有チャネル割当決定に対する処理について説明する。図4は、占有チャネル割当決定に対する処理を示すフローチャートである。この決定に対しては、チャネル割当部13は、テーブル処理部14に対し、チャネルの使用状態を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のチャネル状態テーブル32の内容を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

#### 【0055】

そして、チャネル割当部13は、そのテーブルデータからチャネルの使用状態を参照し、未使用状態にあるチャネルの一つを抽出して、そのチャネル番号を取得するとともに、その周波数およびスロット番号を決定する（ステップS201）。また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、チャネル状態テーブル32に対し、抽出したチャネルのチャネル番号に対応するチャネル使用状態を使用中状態に設定し、その他の情報も設定する（ステップS202）。

#### 【0056】

また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、コンテンツ受信局情報テーブル34に対し、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100が使用するチャネル番号として、ステップS201において抽出したチャネル番号を設定する（ステップS203）。さらに、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、コンテンツ配信数管理テーブル31に対し、上記ステ

ップS102において抽出されたコンテンツ番号に対応する配信先コンテンツ受信局数に1を加算する（ステップS204）。なお、上記ステップS202～S204においてテーブル処理部14を介しておこなわれる処理は、具体的には、チャネル割当部13が、各処理を指示する情報更新要求をテーブル処理部14に送信することで実現される。

【0057】

そして、チャネル割当部13は、ステップS201において決定した周波数およびスロット番号と、該当するコンテンツ受信局番号と、コンテンツ配信開始時刻の各情報を含んだ配信チャネル指示を生成し、送信メッセージ処理部15に送信する（ステップS205）。

【0058】

つぎに、ブロードキャスト割当決定に対する処理について説明する。図5は、ブロードキャスト割当決定に対する処理を示すフローチャートである。この決定に対しては、チャネル割当部13は、テーブル処理部14に対し、チャネルの使用状態を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のチャネル状態テーブル32の内容を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

【0059】

そして、チャネル割当部13は、そのテーブルデータからチャネルの使用状態を参照し、上記ステップS102において抽出されたコンテンツ番号に対応するチャネル番号を取得し、その周波数およびスロット番号を決定する（ステップS301）。また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、コンテンツ受信局情報テーブル34に対し、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100が使用するチャネル番号として、ステップS301において抽出したチャネル番号を設定する（ステップS302）。

【0060】

さらに、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、コンテンツ配信数管理テーブル31に対し、上記ステップS102において抽出されたコンテンツ番号に対応する配信先コンテンツ受信局数に1を加算する（ステップS30

3)。なお、上記ステップS302およびS303においてテーブル処理部14を介しておこなわれる処理は、具体的には、チャネル割当部13が、各処理を指示する情報更新要求をテーブル処理部14に送信することで実現される。

【0061】

そして、チャネル割当部13は、ステップS301において決定した周波数およびスロット番号と、該当するコンテンツ受信局番号と、コンテンツ配信開始時刻の各情報を含んだ配信チャネル指示を生成し、送信メッセージ処理部15に送信する（ステップS304）。

【0062】

つぎに、占有チャネル切替・割当決定に対する処理について説明する。図6は、占有チャネル切替・割当決定に対する処理を示すフローチャートである。この決定に対しては、チャネル割当部13は、テーブル処理部14に対し、チャネルの使用状態を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のチャネル状態テーブル32の内容を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

【0063】

そして、チャネル割当部13は、そのテーブルデータからチャネルの使用状態を参照し、上記ステップS102において抽出されたコンテンツ番号に対応するチャネル番号を取得する（ステップS401）。つづいて、チャネル割当部13は、テーブル処理部14に対し、コンテンツ受信局の情報を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のコンテンツ受信局情報テーブル34の内容を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

【0064】

そして、チャネル割当部13は、そのテーブルデータから、ステップS401において取得したチャネル番号を使用しているコンテンツ受信局番号をすべて抽出する（ステップS402）。

【0065】

また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14に対し、チャネルの使用状

態を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のチャネル状態テーブル32の内容を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

【0066】

そして、チャネル割当部13は、そのテーブルデータからチャネルの使用状態を参照し、未使用状態にあるチャネルを抽出して、それらのチャネル番号を取得する（ステップS403）。さらに、チャネル割当部13は、ステップS403において抽出したチャネル番号のうち、使用するチャネル番号を選択してその周波数およびスロット番号を決定し、テーブル処理部14を介して、チャネル状態テーブル32に対し、選択したチャネル番号に対応するチャネル使用状態を使用中状態に設定するとともに、その他の情報も設定する（ステップS404）。

【0067】

また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、コンテンツ受信局情報テーブル34に対し、ステップS402において抽出したコンテンツ受信局番号に対応する各コンテンツ受信局と、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100と、がそれぞれ使用するチャネル番号として、ステップS404において選択したチャネル番号を互いに異なるように割り当て、設定する（ステップS405）。

【0068】

また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、チャネル状態テーブル32に対し、ステップS401において取得したすべてのチャネル番号に対応するチャネル使用状態を未使用状態に設定するとともに、その他の情報も設定する（ステップS406）。

【0069】

さらに、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、コンテンツ配信数管理テーブル31に対し、上記ステップS102において抽出されたコンテンツ番号に対応する配信先コンテンツ受信局数に1を加算する（ステップS407）。なお、上記ステップS404～S407においてテーブル処理部14を介しておこなわれる処理は、具体的には、チャネル割当部13が、各処理を指示す

る情報更新要求をテーブル処理部14に送信することで実現される。

【0070】

そして、チャネル割当部13は、ステップS404において選択したチャネル番号のそれぞれについて決定した周波数およびスロット番号、該当する各コンテンツ受信局番号およびコンテンツ配信開始時刻の各情報と、チャネルの切り替え指示とを含んだ配信チャネル指示を生成し、送信メッセージ処理部15に送信する（ステップS408）。

【0071】

つぎに、ブロードキャストチャネル切替・割当決定に対する処理について説明する。図7は、ブロードキャストチャネル切替・割当決定に対する処理を示すフローチャートである。この決定に対しては、チャネル割当部13は、テーブル処理部14に対し、チャネルの使用状態を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のチャネル状態テーブル32の内容を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

【0072】

そして、チャネル割当部13は、そのテーブルデータからチャネルの使用状態を参照し、上記ステップS102において抽出されたコンテンツ番号に対応するチャネル番号を取得する（ステップS501）。つづいて、チャネル割当部13は、テーブル処理部14に対し、コンテンツ受信局の情報を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のコンテンツ受信局情報テーブル34の内容を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

【0073】

そして、チャネル割当部13は、そのテーブルデータから、ステップS501において取得したチャネル番号を使用しているコンテンツ受信局番号をすべて抽出する（ステップS502）。

【0074】

また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14に対し、チャネルの使用状

態を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のチャネル状態テーブル32の内容を含んだテーブルデータをチャネル割当部13に返信する。

【0075】

そして、チャネル割当部13は、そのテーブルデータからブロードキャストチャネルの使用状態を参照し、未使用状態にあるブロードキャストチャネルの一つを抽出して、それらのチャネル番号を取得するとともに、その周波数およびスロット番号を決定する（ステップS503）。さらに、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、チャネル状態テーブル32に対し、ステップS503において取得したチャネル番号に対応するチャネル使用状態を使用中状態に設定するとともに、その他の情報も設定する（ステップS504）。

【0076】

また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、コンテンツ受信局情報テーブル34に対し、ステップS502において抽出したコンテンツ受信局番号に対応する各コンテンツ受信局と、配信要求メッセージを送信したコンテンツ受信局100と、が使用するチャネル番号として、ステップS503において抽出したチャネル番号を設定する（ステップS505）。

【0077】

また、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、チャネル状態テーブル32に対し、ステップS501において取得したすべてのチャネル番号に対応するチャネル使用状態を未使用状態に設定するとともに、その他の情報も設定する（ステップS506）。

【0078】

さらに、チャネル割当部13は、テーブル処理部14を介して、コンテンツ配信数管理テーブル31に対し、上記ステップS102において抽出されたコンテンツ番号に対応する配信先コンテンツ受信局数に1を加算する（ステップS507）。なお、上記ステップS504～S507においてテーブル処理部14を介しておこなわれる処理は、具体的には、チャネル割当部13が、各処理を指示する情報更新要求をテーブル処理部14に送信することで実現される。

## 【0079】

そして、チャネル割当部13は、ステップS503において抽出したブロードキャストチャネルについて決定した周波数およびスロット番号、該当するコンテンツ受信局番号およびコンテンツ配信開始時刻の各情報と、チャネルの切り替え指示とを含んだ配信チャネル指示を生成し、送信メッセージ処理部15に送信する（ステップS508）。

## 【0080】

つぎに、上述した各決定における配信チャネル指示の送信（ステップS205、S304、S408およびS508）に対する送信メッセージ処理部15の処理について説明する。図8は、送信メッセージ処理部の処理を示すフローチャートである。

## 【0081】

送信メッセージ処理部15は、チャネル割当部13から上記した配信チャネル指示を受信すると、テーブル処理部14に対し、シグナリングチャネル情報を取得するための情報取得要求を送信する。テーブル処理部14は、この情報取得要求を受けると、メモリ部30上のシグナリングチャネル情報テーブル35の内容を含んだテーブルデータを送信メッセージ処理部15に返信する。

## 【0082】

そして、送信メッセージ処理部15は、そのテーブルデータから、配信チャネル指示に設定されたコンテンツ受信局番号に対応する下りチャネル情報（周波数、スロット番号）を取得する（ステップS601）。そして、上記配信チャネル指示とステップS601において取得した下りチャネル情報を含んだ送信要求を無線送信部18に送信する。

## 【0083】

無線送信部18では、その送信要求に含まれた下りチャネル情報（周波数、スロット番号）で指定されるチャネルを用いて、上記配信チャネル指示をコンテンツ受信局100に送信する（ステップS602）。

## 【0084】

つぎに、コンテンツ受信局100が、コンテンツ配信局200から配信チャネ

ル指示を受信した際の動作について説明する。図9は、コンテンツ配信システムの動作を示すフローチャートであり、特にコンテンツ受信局におけるチャネル切替・設定動作を示すものである。

【0085】

コンテンツ受信局100は、配信チャネル指示を受信すると（ステップS701）、その配信チャネル指示から、配信に使用するチャネル（周波数、スロット番号）とコンテンツ開始時刻を抽出する（ステップS702）。ここで、コンテンツ受信局100において、すでに配信用として使用中のチャネルがあるならば（ステップS703肯定）、そのチャネルを、ステップS702において抽出したチャネルに切り替える（ステップS705）。

【0086】

配信用として使用中のチャネルがないならば（ステップS703否定）、ステップS702において抽出したチャネルを、配信用のチャネルとして設定する（ステップS704）。また、コンテンツ受信局100は、コンテンツ配信局200に対し、コンテンツ受信局100の識別番号を含めた配信チャネル指示応答を、そのコンテンツ受信局100毎に占有している上りのシグナリングチャネルを用いて送信する（ステップS706）。

【0087】

そして、コンテンツ受信局100は、ステップS702において抽出した配信開始時刻になると、ステップS702において抽出したチャネルを用いてコンテンツの受信を開始する（ステップS707）。

【0088】

つぎに、コンテンツ配信局200がコンテンツ受信局100から配信チャネル指示応答を受信した際の動作について説明する。図10は、コンテンツ配信局におけるコンテンツ配信動作を示すフローチャートである。

【0089】

コンテンツ配信局200は、無線受信部11において、コンテンツ受信局100から無線受信データを受信すると、受信メッセージを取り出し、取り出した受信メッセージを受信メッセージ処理部12に送信する（ステップS801）。受

信メッセージ処理部12では、その受信メッセージが配信チャネル指示応答メッセージであるならば、その受信メッセージを配信コンテンツ処理部16に送信する。

#### 【0090】

配信コンテンツ処理部16は、受け取った受信メッセージから、コンテンツ受信局100を特定し（ステップS802）、テーブル処理部14を介して、コンテンツ受信局情報テーブル34を読み出し、特定したコンテンツ受信局100に対するコンテンツ配信開始時刻を取得する（ステップS803）。そして、配信コンテンツ処理部16は、コンテンツ受信局100の番号と取得したコンテンツ配信開始時刻とを含んだ配信タイミング要求を時刻管理部17に送信する。

#### 【0091】

時刻管理部17では、その配信タイミング要求で指定された時刻に達したか否かを監視し、その時刻に達すると、配信コンテンツ処理部16に対し、コンテンツ受信局番号を含んだ配信タイミング通知を送信する。

#### 【0092】

配信コンテンツ処理部16は、この配信タイミング通知に対し、テーブル処理部14を介して、コンテンツ受信局情報テーブル34を読み出し、受信した配信タイミング通知で指示されたコンテンツ受信局のチャネル番号を取得する（ステップS803）。そして、配信コンテンツ処理部16は、テーブル処理部14を介して、チャネル状態テーブル32を読み出し、ステップS803において取得したチャネル番号に該当するチャネルの周波数、スロット番号およびコンテンツ番号を求める（ステップS804）。

#### 【0093】

つづいて、配信コンテンツ処理部16は、それらチャネルの周波数、スロット番号およびコンテンツ番号を含んだコンテンツデータ送信要求をコンテンツデータベース20に送信する。コンテンツデータベース20では、コンテンツデータ送信要求に対し、指定されたコンテンツ番号に該当するコンテンツデータを取得し（ステップS805）、上記チャネルの周波数およびスロット番号情報を付加した送信コンテンツデータを生成して無線送信部18に送信する。

## 【0094】

無線送信部18は、送信コンテンツデータを受信すると、その送信コンテンツデータに含まれるコンテンツデータを、指示されたチャネルの周波数およびスロット番号を用いて無線送信データとして送信する（ステップS806）。

## 【0095】

以上に説明したとおり、実施の形態にかかるコンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信方法によれば、コンテンツ配信要求のあったコンテンツについて、そのコンテンツの配信を受けているコンテンツ受信局数を調べ、その数が所定の下限閾値以下である場合には、そのコンテンツの配信用として用いるチャネルの種別をコンテンツ受信局毎に占有されるチャネルに設定し、所定の上限閾値以上である場合には、そのコンテンツの配信用として用いるチャネルの種別をブロードキャストチャネルに設定するので、コンテンツ配信要求時や配信中に無線チャネルの浪費を最小限に留めた状態でのチャネル利用が可能となり、有限な無線チャネル資源を有效地に活用することができる。

## 【0096】

## 【発明の効果】

以上、説明したとおり、この発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、コンテンツの配信要求対象となるコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、ブロードキャストチャネルか占有チャネルかに設定するので、コンテンツの利用状況に応じたチャネル変更を実現することができ、効率的な無線通信チャネルの利用を図ることができるという効果を奏する。

## 【0097】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、ブロードキャストチャネルか占有チャネルかに設定するので、各コンテンツ受信局に対してその占有チャネルを使って配信している最中に、配信先となるコンテンツ受信局が増減した場合に、ブロードキャストチャネルまたは占有チャネルの占

有状態を回避することができるという効果を奏する。

【0098】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の下限値以下である場合に、占有チャネルに設定するので、利用の少ないコンテンツに対して割り当てられているブロードキャストチャネルを開放することができ、有限な無線チャネル資源を有效地に活用することができるという効果を奏する。

【0099】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の上限値以上である場合に、ブロードキャストチャネルに設定するので、利用の多いコンテンツに対してコンテンツ受信局毎に割り当てられている占有チャネルを開放することができ、有限な無線チャネル資源を有效地に活用することができるという効果を奏する。

【0100】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、配信に関する情報をコンテンツ受信局に送信するので、コンテンツ受信局に、チャネルの割り当て変更や受信タイミング等を通知することができ、コンテンツ受信局側でのチャネル変更等の実効を図ることができるという効果を奏する。

【0101】

つぎの発明によれば、コンテンツ受信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、コンテンツ配信局から、配信に関する情報の通知を受けるので、チャネルの割り当て変更やチャネルの割り当て変更後の所定の受信タイミングでのコンテンツ受信を実行することができるという効果を奏する。

【0102】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、コンテンツの配信要求対象となるコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、ブロードキャストチャネルか占有チャネルかに設定するので、コンテンツの利用状況に応じたチャネル変更を実現することができ、効率的な無線通信チャネルの利用を図ることができるという効果を奏する。

#### 【0103】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数に応じて、ブロードキャストチャネルか占有チャネルかに設定するので、各コンテンツ受信局に対してその占有チャネルを使って配信している最中に、配信先となるコンテンツ受信局が増減した場合に、ブロードキャストチャネルまたは占有チャネルの占有状態を回避することができるという効果を奏する。

#### 【0104】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の下限値以下である場合に、占有チャネルに設定するので、利用の少ないコンテンツに対して割り当てられているブロードキャストチャネルを開放することができ、有限な無線チャネル資源を有效地に活用することができるという効果を奏する。

#### 【0105】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局とコンテンツ受信局との間でコンテンツの配信に用いられる無線通信チャネルを、すでに配信されているコンテンツと同一のコンテンツの配信を受けている他のコンテンツ受信局の総数が所定の上限値以上である場合に、ブロードキャストチャネルに設定するので、利用の多いコンテンツに対してコンテンツ受信局毎に割り当てられている占有チャネルを開放することができ、有限な無線チャネル資源を有效地に活用することができるという効果を奏する。

## 【0106】

つぎの発明によれば、コンテンツ配信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、配信に関する情報をコンテンツ受信局に送信するので、コンテンツ受信局に、チャネルの割り当て変更や受信タイミング等を通知することができ、コンテンツ受信局側でのチャネル変更等の実効を図ることができるという効果を奏する。

## 【0107】

つぎの発明によれば、コンテンツ受信局が、すべてのコンテンツ受信局に対してあらかじめ設定された個別の無線通信チャネルを用いて、コンテンツ配信局から、配信に関する情報の通知を受けるので、チャネルの割り当て変更やチャネルの割り当て変更後の所定の受信タイミングでのコンテンツ受信を実行することができるという効果を奏する。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムの概略構成を示すブロック図である。

【図2】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいてメモリ部内の各テーブルの格納内容を示す図である。

【図3】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいて、コンテンツ配信局のチャネル切替・割当動作を示すフローチャートである。

【図4】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいて、占有チャネル割当決定に対する処理を示すフローチャートである。

【図5】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいて、ブロードキャスト割当決定に対する処理を示すフローチャートである。

【図6】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいて、占有チャネル切替・割当決定に対する処理を示すフローチャートである。

【図7】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいて、ブロードキャストチャネル切替・割当決定に対する処理を示すフローチャートである。

【図8】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいて、送信メッセージ処理部の処理を示すフローチャートである。

【図9】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいて、コンテンツ受信局のチャネル切替・設定動作を示すフローチャートである。

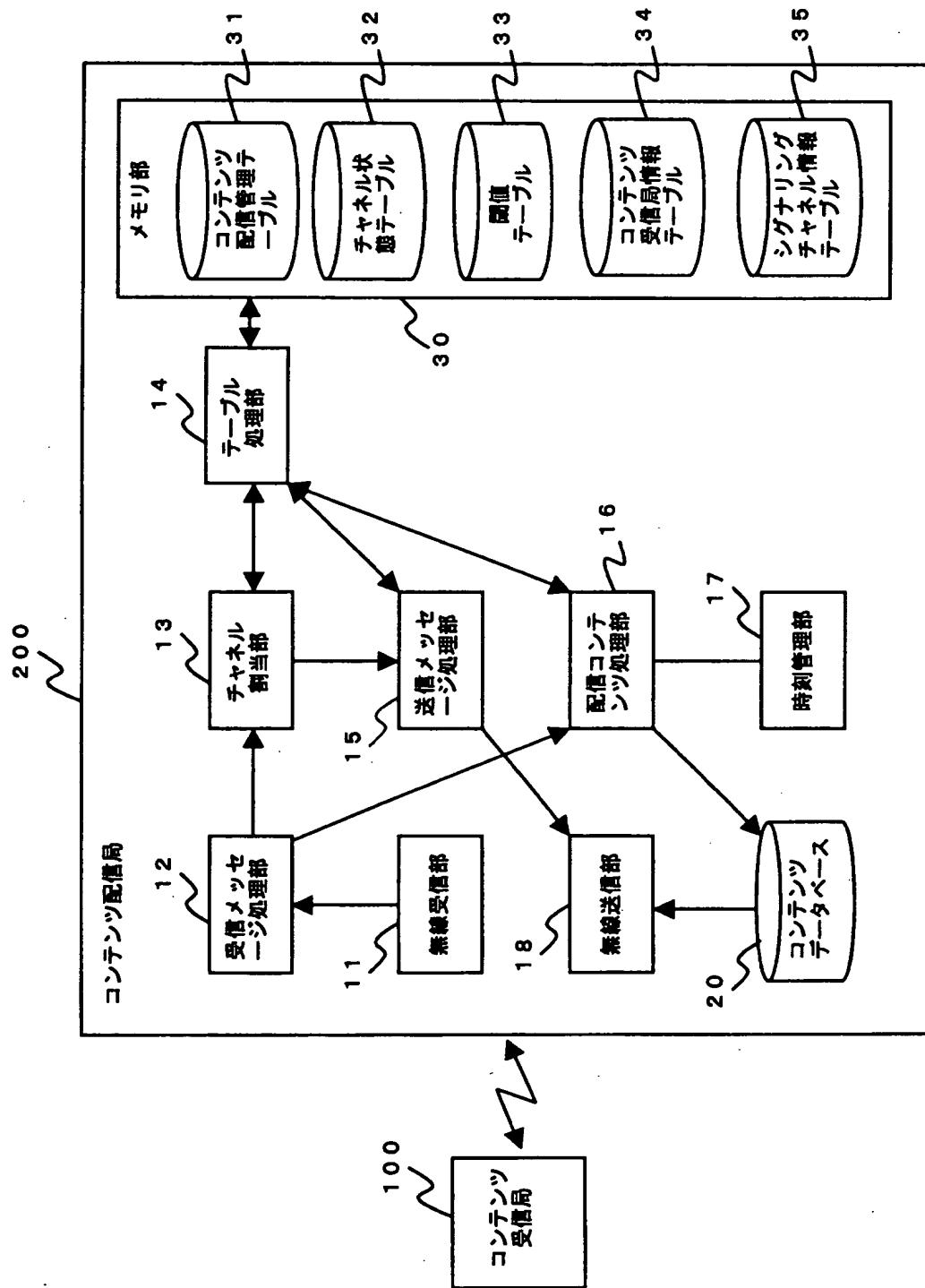
【図10】 実施の形態にかかるコンテンツ配信システムにおいて、コンテンツ配信局のコンテンツ配信動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

1 1 無線受信部、1 2 受信メッセージ処理部、1 3 チャネル割当部、1 4 テーブル処理部、1 5 送信メッセージ処理部、1 6 配信コンテンツ処理部、1 7 時刻管理部、1 8 無線送信部、2 0 コンテンツデータベース、3 0 メモリ部、3 1 コンテンツ配信数管理テーブル、3 2 チャネル状態テーブル、3 3 閾値テーブル、3 4 コンテンツ受信局情報テーブル、3 5 シグナリングチャネル情報テーブル、1 0 0 コンテンツ受信局、2 0 0 コンテンツ配信局。

【書類名】 図面

【図1】



【図2】

コンテンツ配信数管理テーブル

コンテンツ番号	配信先コンテンツ受信局数	使用チャネル種別
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

チャネル状態テーブル

チャネル番号	チャネル種別	チャネル使用状態	コンテンツ番号
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

閾値テーブル

閾値種別	値
上限閾値	⋮
下限閾値	⋮

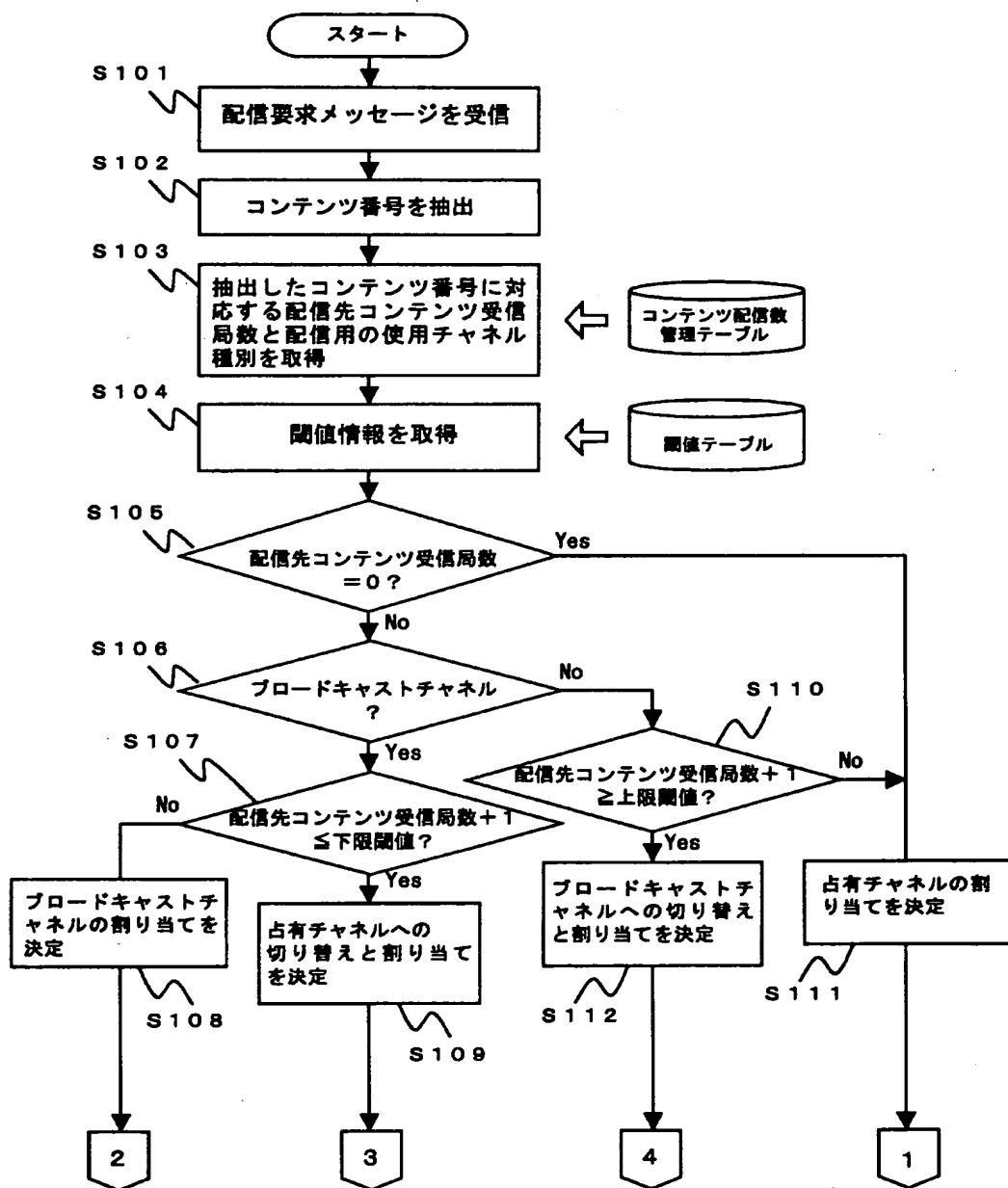
コンテンツ受信局情報テーブル

コンテンツ受信局番号	チャネル番号	コンテンツ配信開始時刻
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

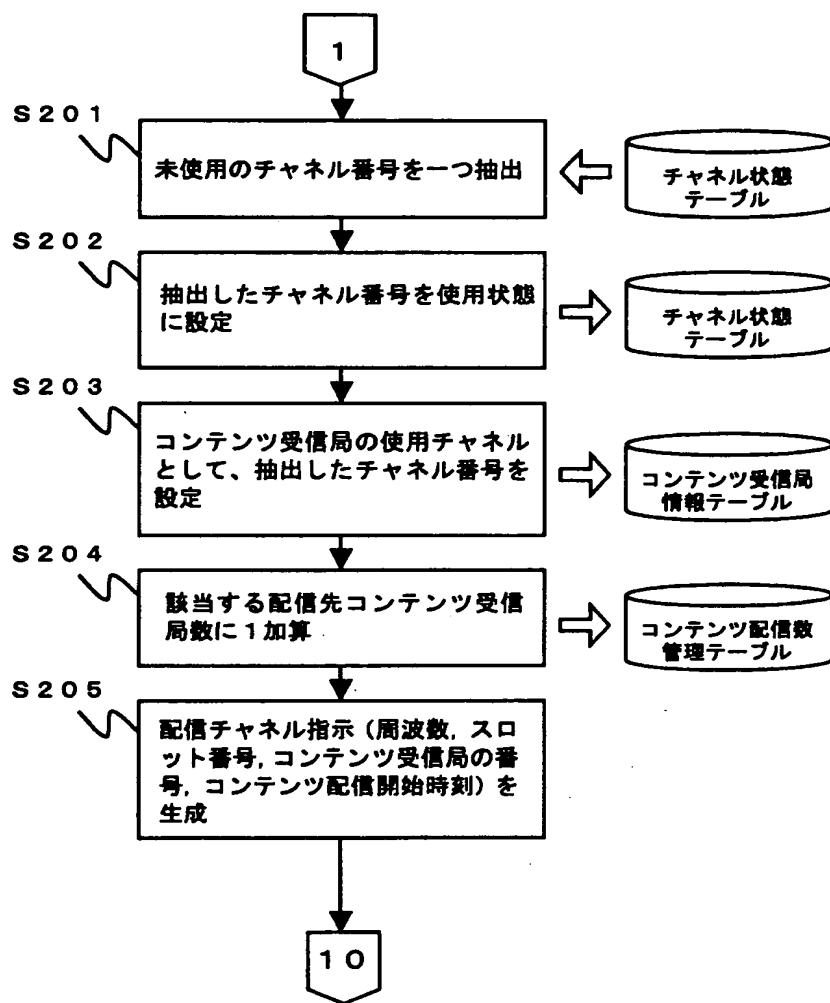
シグナリングチャネル情報テーブル

コンテンツ受信局番号	上りチャネル情報		下りチャネル情報	
	周波数	スロット番号	周波数	スロット番号
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

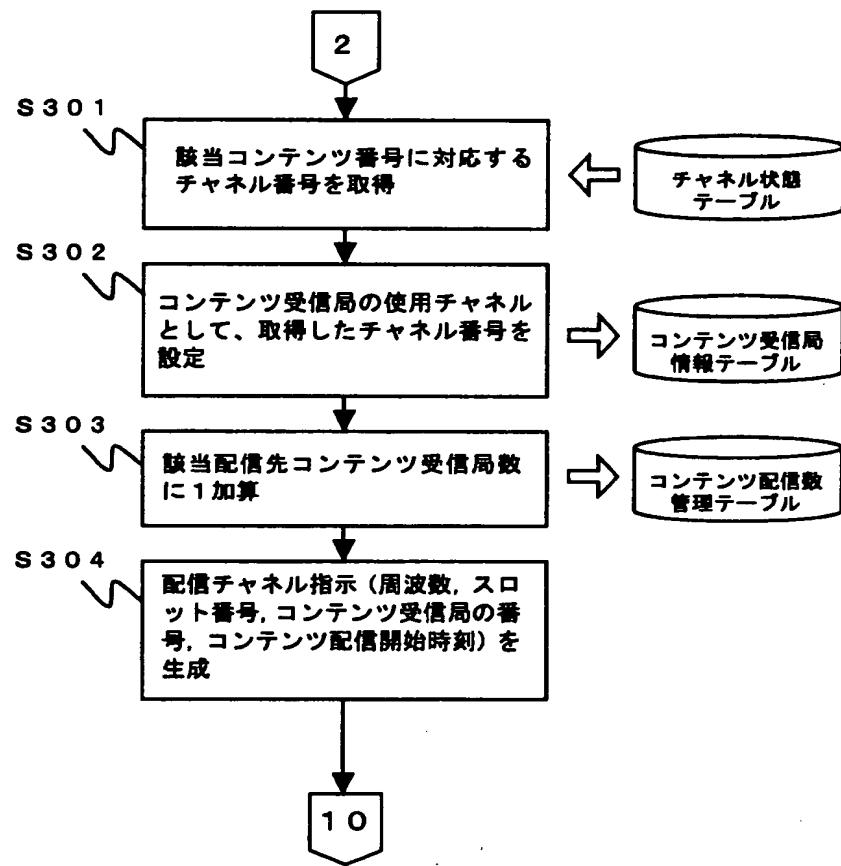
【図3】



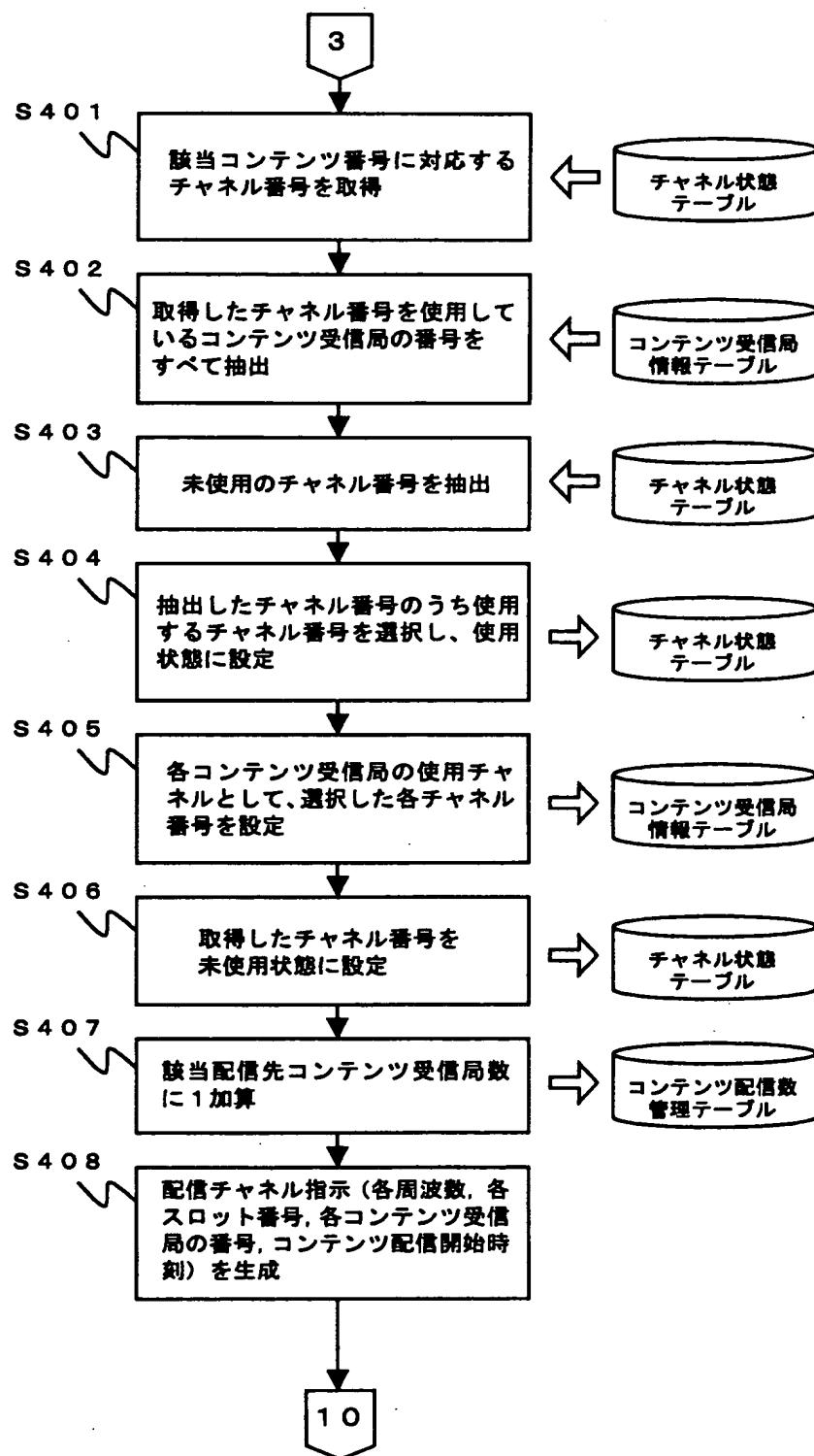
【図4】



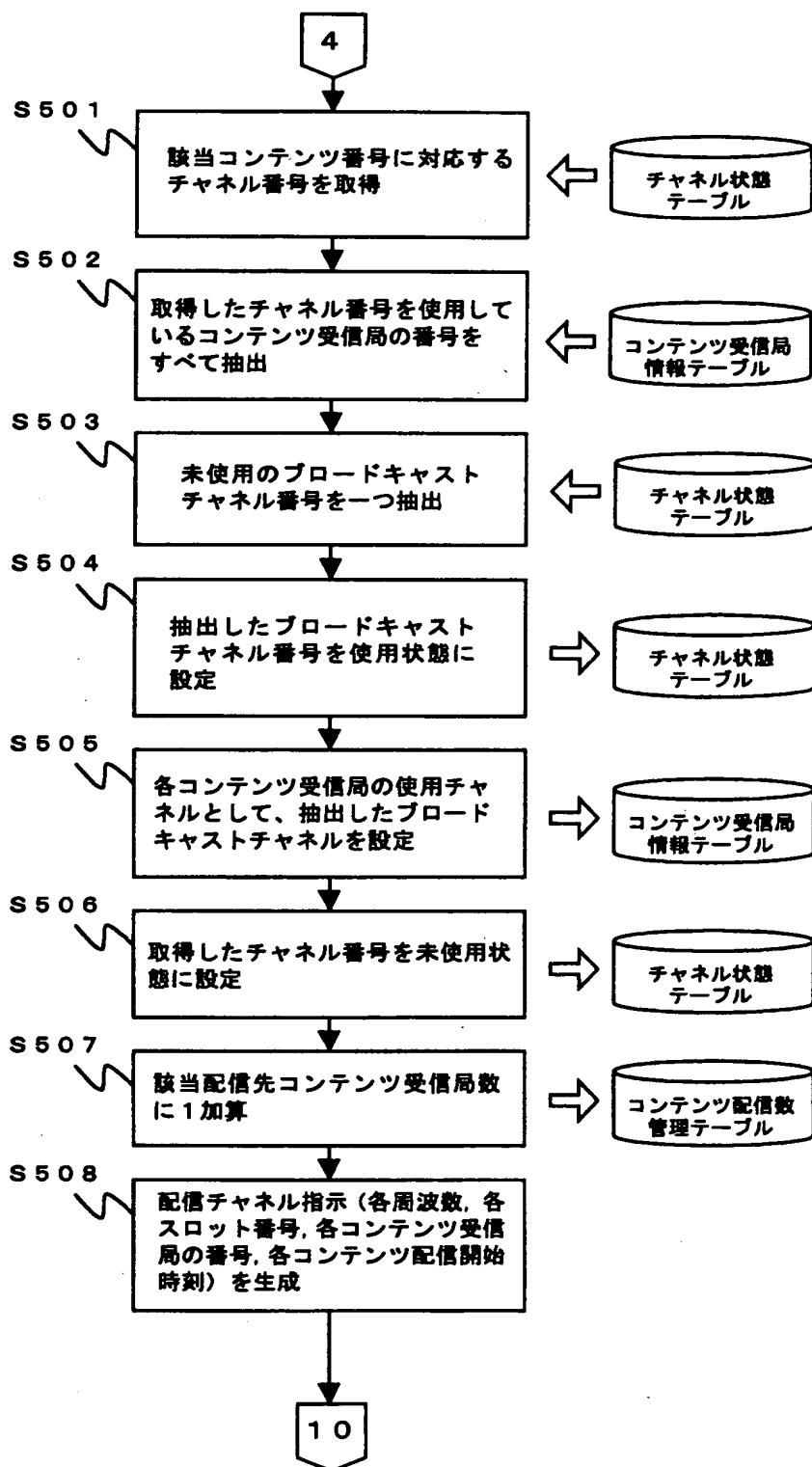
【図5】



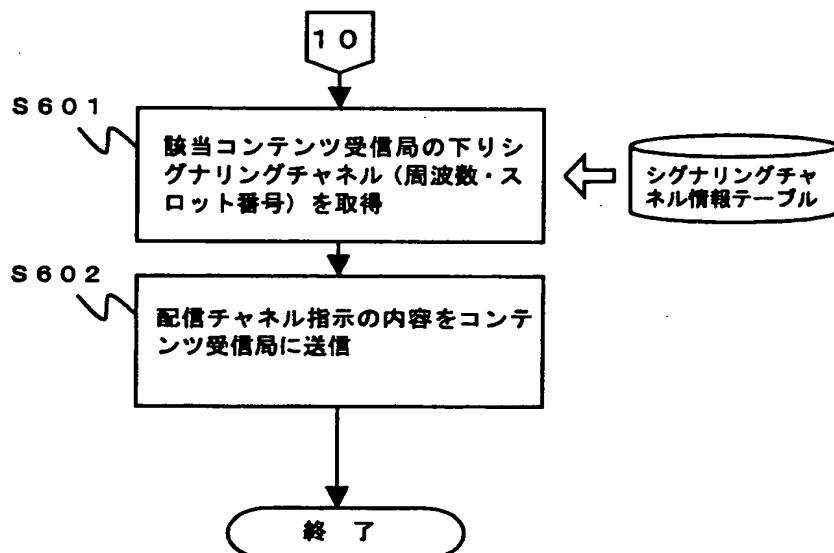
【図6】



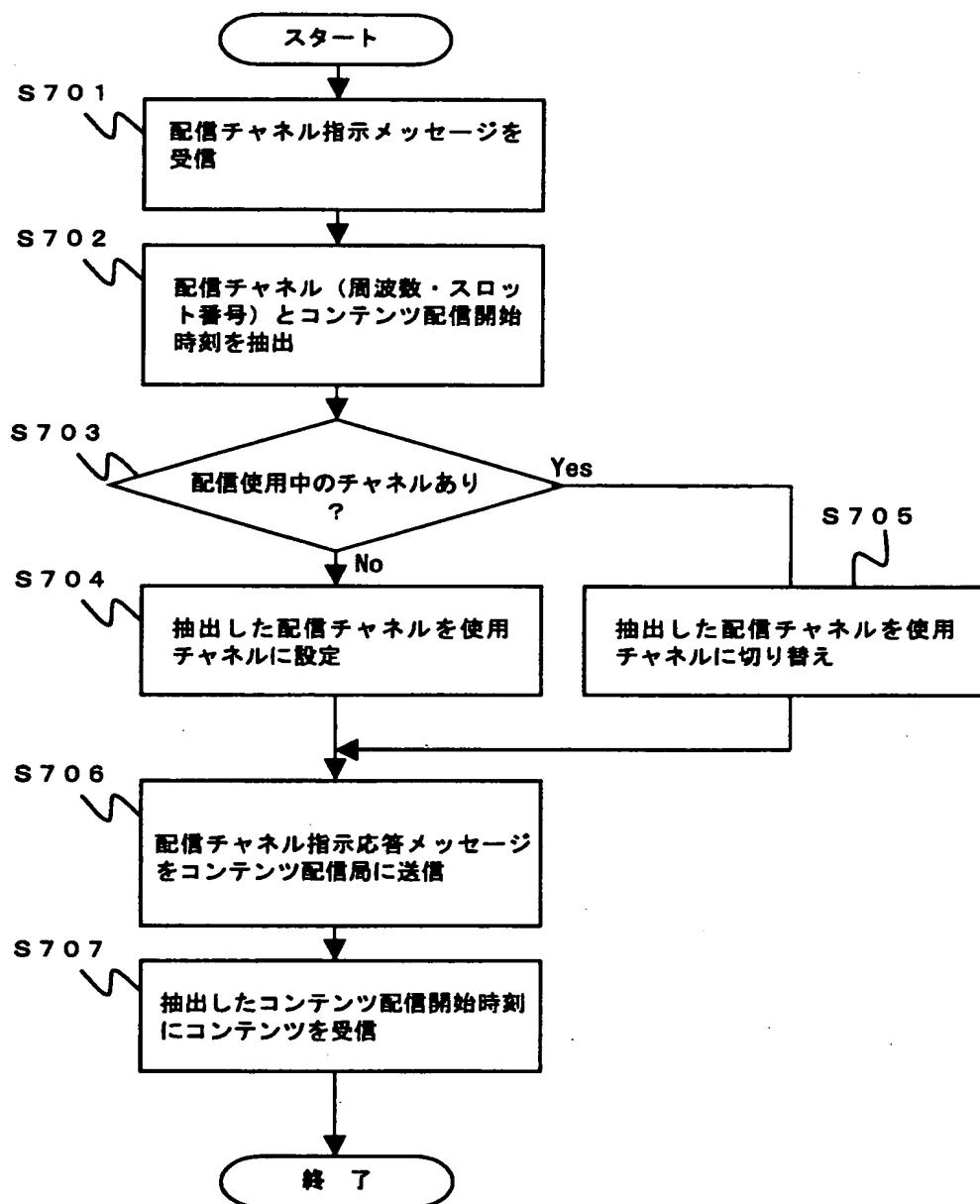
【図7】



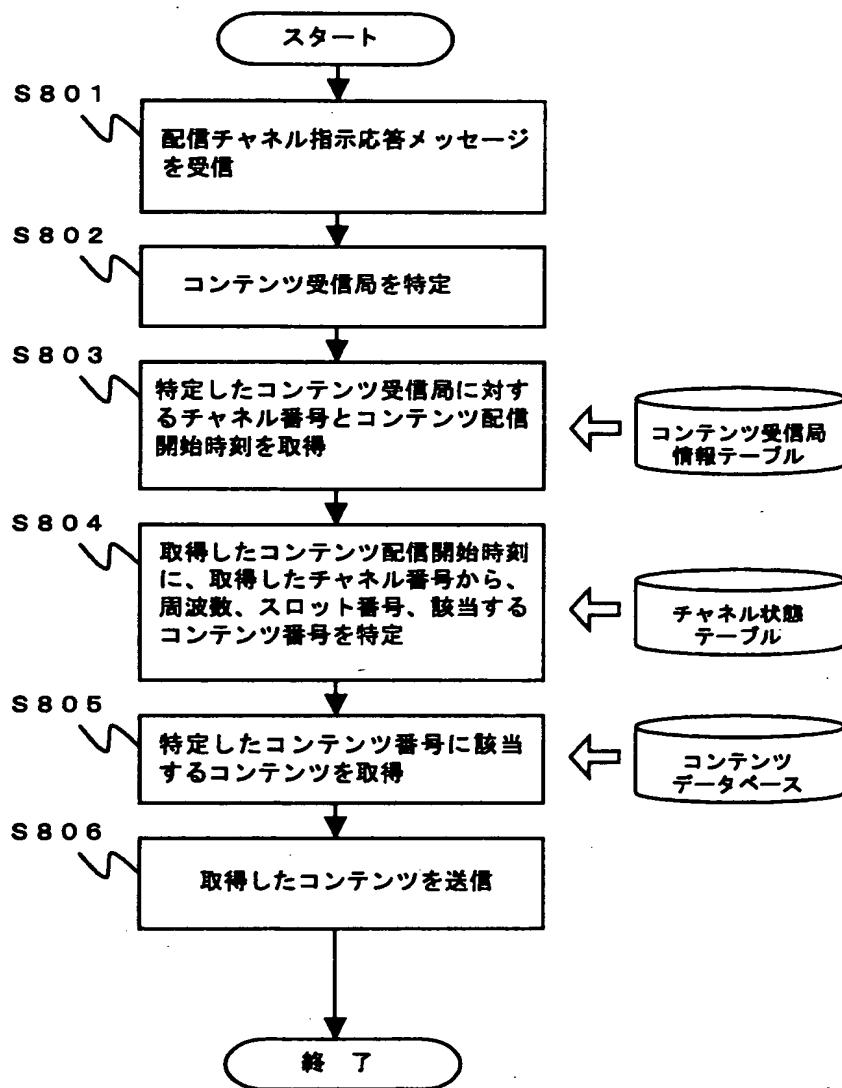
【図8】



【図9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 コンテンツ配信に用いる無線通信チャネルを効率的に割り当てるコンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信方法を得ること。

【解決手段】 コンテンツ配信局200に、コンテンツの配信を受けているコンテンツ受信局数が多いか少ないかを判定して配信用チャネルを決定するチャネル割当部13を設け、コンテンツ受信局100から配信要求の通知があった場合または配信中に、そのコンテンツを受信しているコンテンツ受信局数が多い場合にはそのコンテンツの配信用チャネルとしてブロードキャストチャネルを割り当て、少ない場合には該当するコンテンツ受信局に占有チャネルを割り当てる。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000006013]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号  
氏 名 三菱電機株式会社